




水遊びって気持ちいいね

(小野田東保育所にて)


  
**がみまち**
  
**議会だより**
  
 平成18年8月1日発行
   
**No.14**

決議	行政視察	一般質問	予算
飲酒運転撲滅を決議	先進地に学ぶ	町政をただす5人登壇	補正予算125百万円追加
………	………	………	………
P11	P10	P4	P2

# 補正予算

# , 510万円増額

[総額 130億8,247万円]



執行部に向けられる厳しい質問（議場にて）

6月定例議会は6月15日から16日まで開かれ、平成18年度一般会計補正予算など原案どおり可決しました。

## 主な歳出

総務費	5,283万7千円
住民バス整備事業、四日市場沖 コミュニティセンター建設補助金など	
民生費	434万9千円
農林水産業費	1,927万円
畜産環境総合整備統合補助事業など	
商工費	649万3千円
教育費	6,569万2千円
広原小学校拡張用地購入など	
予備費	△2,485万7千円

## 主な歳入

国庫支出金	155万8千円
国民年金事務委託金など	
県支出金	117万7千円
市町村振興総合補助金など	
諸収入	2,585万7千円
自治総合センターコミュニティ 助成金など	
町債	9,620万円
住民バス整備事業債、小学校整 備事業債など	

# 平成18年度一般会計

# 1億2



土づくりセンター建設予定地

## 土づくりセンター

### 建設決定



設置予定の上多田川地区は、町内の畜産農家の分布状況からみて、一方に偏った場所であり、易きところに

つくる反作用として搬入・搬出に難が予想される。

当分の間は、町が応分の支援を考えていくべきと思われるが見解を伺う。



搬入については、畜種ごとや地区ごとのグループ化、専用車両の導入等を予定しておりますが、畜産農家の方々と農協とも、さらに研究していかなければならないと考えます。



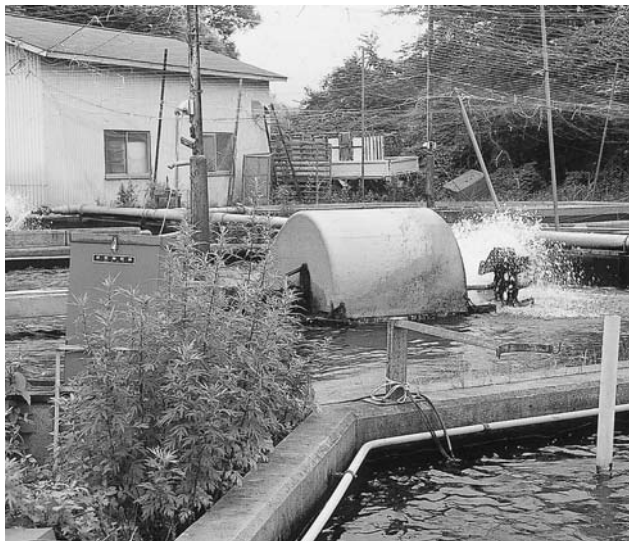
これまで中新田漁業生産組合が管理運営してきたものと認識しているが、今年のお中元を募るチラシが「有限会社アユ工房」で配布されていると聞く。その実態について伺う。

り、同組合の解約届がないままに「有限会社アユ工房」に委託した形になった。加美町の名産品でもあり、東北を中心とする各県漁協から放流用の稚アユの申込みもあって、生産を1年間ストップすることによるイメージダウンを回避するためです。



今年2月に、中新田漁業生産組合から、生産活動が継続できない旨の申し入れがある。

今年2月に、中新田漁業生産組合から、生産活動が継続できない旨の申し入れがある。



(有)アユ工房で営業されているアユ養魚場

## アユ養魚場の

### 管理運営は

# ただす

## 一般質問 5人



近藤 義次 議員

### 問 ことども課の設置を

町内の保育所・幼稚園・子育て支援センター・児童館・私立幼稚園を含めたことどもに対する抜本的な対策としてことども課を新設しては。

### 答 全庁的な取り組みで

本町では毎年生まれる子どもの数より亡くなる方の数が百人以上多く、人口減少が進んでいます。国では児童手当や出産一時金、3歳児までの外来医療費無料等の助成を行っています。町ではこれをさらに7歳児まで拡大するなどの子育て支援を行っており、今後、次世代育成計画を基に子どもを生み育てやすい環境整備を推進してまいります。

提言された少子化対策については、今後職員を大幅に削減していく中で新たな課の設置は難しい状況ですが、保健福祉課を中心として、医療や保育環境、結婚対策等も含めた全庁的な体制で取り組んでまいります。



短冊に願いをこめて

### 問 理学療法士の採用は

町職員として理学療法士を採用し、老人、障害者に対しての巡回指導や福祉施設での健康増進のための指導など、効果的な利活用について。

### 答 加美病院を核として対応

現在、加美病院に4名の理学療法士がおり、本町と色麻町で要介護認定者や脊髄損傷障害者、障害児等の巡回指導を行っています。昨年度の巡回指導の実績は、延べ日数28日、対象者が延べ47人でした。



老人介護の更なる充実をめざして

町として理学療法士を新たに雇用することは難しい面があり、当分は加美病院を核として対応することになるかと思いますが、理学療法士の役割・効果が大変大きいことは認識しておりますので、今後の検討課題としてまいります。



佐藤善一 議員

# 町政を

## 問 無料職業紹介事業を

職業安定法の改正で町に雇用政策を総合的に実施することが求められている。

この自治事務としての「無料職業紹介事業」を町の総合計画にとり入れ、権限と支援を活用して、地域経済の活性化、障害者の雇用促進など地域福祉の推進を図り、若者が希望のもてる地域社会を構築しなければならない。そこで全部局にまたがるプロジェクト型の組織で総合経済雇用政策を策定し、この事業を担う専門担当と関係機関をネットワーク化する総合相談窓口の設置が必要と思うが所信を伺う。



ハローワークの窓口にて

## 答 雇用拡大に努力

職業安定法の改正により、届け出をすれば町が無料職業紹介事業ができるようになりました。

町では商工観光課が労働政策を担当しており、雇用対策も行っています。その一つとして、町内企業から募集等があった際に区長さん方を通じて求人情報を配布したり、全戸対象の回覧等を行い、職業紹介に努めています。本町の求人・求職状況は、求職者一人に対して求人一件とほぼ同数ですが、双方の希望や条件が合わないなど難しい面もあるようです。

働く場の確保は町の大きな課題であり、各企業との定期的な懇談・連絡会等、十分に連携をとりながら雇用の拡大を働きかけていきたいと思えます。また、町内企業の求人情報を町民の皆さんに定期的に提供するとともに、雇用相談を受け付ける窓口の充実にも力を入れてまいります。



一條 寛 議員

## 問 浸水被害対策は

以前より何度も浸水被害のあった城生前田地区の住民の不安を解消するための恒久的な解決策は。また「都市再生、地域再生」のために創設された「まちづくり交付金制度」を活用してこの地域を総合的に整備してはと思うが町長の考えを伺う。

## 答 多様な対策を

城生前田地区については、地形的な問題や水路の状況等の調査検討を行い、国に対して排水路等の大規模改修を要望していますが、難しい状況です。現在、米泉地区から田川へ排水するとともに、前田地区東側の水路に排水ポンプを設置し、ある程度の効果が出ていますが、さらに対策を講じてまいります。

なお、まちづくり交付金については、採択基準の面で難しい状況ですが、引き続き調査検討してまいります。



水害にたびたび見舞われる前田住宅

## 問 休日開庁は

共稼ぎの増加や、社会経済情勢に伴う生活環境、労働環境の変化に伴い、仕事で平日来庁できない方のなかに休日開庁して欲しいとの声がある。行政は最大のサービス産業との認識のもと、合併メリットのひとつとして、休日開庁もしくは平日の業務時間の延長をしてはと思うが町長の考えを伺う。

## 答 現在のサービスで

現在、住民票等の時間外交付については、あらかじめ電話申込をいただき、夜間や休日に警備員で交付するという方法で対応しています。

休日開庁等を実施している他の団体でも、利用者が少なく費用対効果の点から見直ししていると

ころもあるようですので、当面は、現在の利用方法をもっとPRし、利用者のニーズの把握に努めてまいります。



町民課窓口風景



中新田スポーツフェスティバル



吉岡博道 議員

**問**  
元気で魅力ある  
コミュニティ活動を

私たち一人一人が生きがいのある人生を送るため自らの意思で何かを学びつつ心の豊かさを感じる、生涯学習社会の体制づくりを加美町全体としてどう進めていくか、また元気で魅力ある地域づくりを進める上でも「コミュニティ活動や集落機能の活性化がより重要と思われるが対応策を伺う。

**答**  
地域性を活かした活動に

行政の役割は「いつでも、どこでも、だれでも」が活動できる環境を整え、情報を提供し、学ぶ意欲を育てることと考えています。

現在、生涯学習計画を策定しており、今後それぞれの地域性を活かし、住民ニーズに応えられるよう体制整備を進めてまいります。

集落機能については、昨今の子どもたちの事件等から、昔ながらの集落やコミュニティの重要性



今年も行われたグリーン・ツーリズム活動

が改めて見直されています。

また、地震等の災害から身を守り助け合うという、防災・相互扶助の面でもコミュニティ活動の活性化が重要であり、町としての総合的な体制整備を進めてまいります。

**問**  
交流事業の  
発展・拡大を

加美町の豊かな自然、資源、(人、生活、文化)を最大限生かした加美町

一体となったグリーン・ツーリズム活動としての、体験学習民泊受入れや、滞在型交流事業をどう発展・拡大していくか、また活動を支える人材など担い手の育成をどう図っていくか。

**答**  
活動の拡大を  
支援

グリーンツーリズムに関しては、本町の小野田地区が県内一の先進地としての評価を受けており、さらに、今年になって中新田地区、宮崎地区と全町のすそ野が広がってきています。

今後、加美町グリーンツーリズム推進会議と連携し、農家の方々の理解をいただきながら、活動の拡大を図ってまいります。また、今後の活動推進の母体となる会員の皆さんや農家の方々の研修など、色々な形で支援を行ってまいります。



三浦英典 議員

## 問 心の養育を

この数年、幼児をねらった卑劣な犯罪や、肉親間の殺人等精神的にねじれた人の犯罪が多く、またバーチャルの世界から生まれた、現実と空想の判断のつかない若者による事件等暗たんたる思いをしている。

さらに規制緩和による格差社会やデジタル化による情報のスピード化と氾濫。これらについていけない人達の精神的欠落、自殺やうつ病の増加。

このような問題に対する防犯的見地からの処置、施策も必要不可欠ではあるが、根本的改善には心の養育や人としてのあり方、精神的教育、学習が必要ではないか。

物事を明るく前向きに考え、この加美町に誇りを持って住み、生きるためにも大変重要であり、行政の柱の一つとして実行すべきと思うが、これについて伺う。



連日報道される暗い事件（河北新報より）

## 答 命の大切さ、痛みのわかる教育を推進します

今、社会で起きている様々な問題は、これまでの経済優先の社会構造や、精神面の教育をないがしろにしたゆがんだ競争社会の現れではないかと思えます。これは、戦後六十数年にわたる積み重ねの結果であり、元に戻すには同じくらいの長い年月をかけなければならぬのかもしれない。

そこで学校では、子どもたちの心の教育として、痛みや命の大切さ、さらには生きるということの困難さを理解させるための教育を、長い時間をかけて行っていく必要があると思います。また、大人の場合同も、生涯学習活動やコミュニケーション活動等を通じて集落の連帯感を醸成していくことが重要であろうと思えます。

今国会における教育基本法の改正の中に、教育の第一義的な担い手としての親や家庭の重要性が盛り込まれたことは特筆すべきことであり、これをどのように活かしながら加美町の教育を推進していくかについて十分検討してまいります。



# 工事請負契約が 次のとおり決定しました

## ◇加美町立広原小学校屋内運動場建設工事

加美町立広原小学校の改築整備計画に基づき、昨年度において既存校舎南側に新校舎棟が完成したことにより、屋内運動場建設工事を行うもので、その内容は鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建て、床面積は、屋内運動場及び校舎等との渡り廊下を合わせた1030㎡で、平成19年3月26日を工期として8社を指名し、6月8日に指名入札を行った。

- ・ 契約金額…2億1504万円（税込み）
- ・ 契約の相手方…小野田建設（株）



新しく生まれ変わる広原小学校屋内運動場



整備が進められる加美町北原住宅（北区）

## ◇加美町営北原住宅建替4号棟新築工事

旧小野田町において、昭和48年から昭和53年にかけて建設した町営北原住宅が老朽化したことに伴い、よりよい住環境の整備を目的に、平成10年度から建替え計画に基づき、順次同住宅を解体撤去し、新築を行い、これまで1号棟として18戸、2号棟として12戸、3号棟として12戸、合わせて42戸の整備が完了。

4号棟として鉄筋コンクリート造2階建て8戸を建設するため、平成19年2月25日を工期として6社を指名し、6月8日に指名入札を行った。

- ・ 契約金額…1億1413万円（税込み）
- ・ 契約の相手方…（株）佐藤建設

# 人事

## ◇教育委員会委員の選任に同意



伊藤善一郎氏  
再任  
（小野田地区）

## ◇固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



鈴木清人氏  
再任  
（中新田地区）



福田宏氏  
再任  
（宮崎地区）



板垣弘氏  
再任  
（小野田地区）

## 町有林も有効活用 木造庁舎の建設

二戸市浄法寺総合支所

昭和36年に建設された庁舎が狭隘化、老朽化から建設を計画。当初、耐震性、耐火性を考慮し、鉄筋コンクリート造で計画したが、約19億円の建設費用が見込まれ、厳しい財政状況から対応できる範囲内で新築

を決議し、KES構築法により、木造3階建の庁舎が完成した。建設費は、約6億円。町有林のカラマツを活用することで、低迷する地域林業の活性化にもつながった。



木造庁舎を視察

7月3日から3日間、議員全員によって、木造庁舎や民営の老健施設、新エネルギーの先進地などを訪問し行政視察を実施しましたので報告します。

## 築14年の校舎が福祉施設に 廃校施設の跡地利用

にこトピア浄法寺

平成3年に建設された小学校であったが、少子化の影響で、平成17年3月に廃校。高齡者福祉施設として今年5月から開設。一階部分をデイサービスセンターとして、また2階部分をグループホームとして活用している。

町では国から地域再生法の認可を得て、高齡者福祉事業者に無償貸与し



福祉施設に生まれ変わった学校施設

## 日本一の発信基地 新エネルギー推進

岩手県葛巻町

葛巻町では、風力発電15基をはじめ、木質・畜産バイオマス発電、太陽光発電など、日本一の新エネルギー基地を目指している。基幹産業は酪農と林業で、牛の頭数、牛乳生産量とも東北一。林業でも造林、伐採から木材の流通・加工まで、地場産材を利用した地域林業の確立を目指している。



木質バイオマス施設を見学

# 加美町の野球施設に 関する請願書 一部不採択



現地調査を行なう教育民生常任委員会

昨年12月の定例会で、教育民生常任委員会に付託して審査していただきました「加美町の野球施設に関する請願書」の審査報告書が6月定例会に提出されました。

委員会の審査報告書では、請願趣旨の一つであるサブグラウンドの増設については、以前、同様の要望書を採択していることや過疎地域自立促進

計画の中に整備計画があることを理由として願意が達成されたものと判断。二つ目の電光製のスコアボードの設置については、現時点での設置は必要なしとして、一部不採択として報告されました。

起立採決の結果、賛成多数により、この請願書は、一部不採択として処置されました。

## 飲酒運転撲滅へ

### 全会一致で決議

飲酒運転撲滅に関する決議（抜粋）

飲酒運転による交通事故は、危険運転致死傷罪の新設や飲酒運転の厳罰化等を背景に、全国的には減少傾向にあるものの、依然として悪質な飲酒運転による人身事故は後を絶たない状況である。

飲酒運転撲滅のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場さらには地域が一体となって、「飲酒運転は絶対にしない・させない」という強い意志を示すと同時に、飲酒運転の取り締まり、交通安全思想の普及・啓蒙等の施策を強化することが重要である。

よって、本町議会は、町当局及び関係機関・団体とも連携のうえ、町民の交通安全意識高揚のための対策、飲酒運転等の悪質・危険運転者の根絶対策等を推進し、交通事故のない社会の実現に向けて不断の努力を払うことを決意する。



飲酒運転による悲惨な交通事故

# 町民の声

この頃思いついて



中新田城内地区  
鈴木英美子さん

「光陰矢の如し」と言いますが合併して4年目、ちょうど幼稚園でいえば年中組、お互いを理解し合える時期かと思えます。

ようやく「加美町」という町名にも慣れていよいよ来年は節目の年、これからが本番、躍動する年であってほしいものです。

以前友人から合併して町は変わりましたか？と聞かれたことがあります。聞かれたことがありましたが、さて何が変ったかなと改めて考えて

しまいました。逆に私も同じ質問をしました。模索中と言う返事でした。

年が変わる度に今年こそは何かに挑戦しようと思いつつ数年過ぎてしまいました。一大決心し昨年4月「宮城いきいき学園大崎校」に入学、現在2年生です。勿論入試なし、動機はいろいろ。学習内容の一例ですが「地域参加活動」があります。今日が初めての実習で「岩出の郷」「青風園」

にお話し快諾いただきました。ここ数年、母は両方のホームでお世話になりましたが職員の方々のきめ細かいプラン、介護、やさしさに感謝の毎日です。今しか出来ないこと、そしてこの地でしか出来ないこと、私には介護の事です。年々改正となり理解に苦しむことばかり、勉強不足が原因、がんばらなくちゃと思う今日この頃です。

## あなたも傍聴してみませんか

議会は町民の皆さんのくらしに関わる身近な問題を話し合うところです。気軽においでください。

定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。

お問い合わせは議会事務局まで

TEL 67-5120



## 編集後記

子どもたちへの虐待、時には尊い生命を奪ってしまう凶悪犯罪が後をたない昨今、将来を担う子どもたちを、地域ぐるみで守っていく必要があります。

いよいよ夏本番、熱中症に注意し水分をしっかりと摂り、健康に留意していきましよう。

これからも皆さん方の声に耳を傾けながら、町政の内容をお知らせしていきたいと思えます。

### 編集委員

- 委員長 佐藤 正憲
- 副委員長 門脇 幸悦
- 委員 一條 光
- ” 吉岡 博道
- ” 沼田 雄哉
- ” 三浦 英典